



最優秀賞受賞

看護業務の効率化先進事例アワード2019

タイトル

「ユニホーム2色制」と「ポリバレンタース育成」による
持続可能な残業削減への取り組み

看護業務の効率化

先進事例
アワード
2019



この賞は、日本看護協会と厚生労働省との協賛で看護業務の効率化に関する先駆的な取り組みに対して募集されました。看護部全員で実践している、「かかってよかった」「働いてよかった」戦略のユニホーム2色制とポリバレンタース育成システムについて、大平看護部長が執筆投稿した結果、**最優秀賞を受賞**することができました。この私たちの取り組みは、先進的・先駆的な観点から、最も優れた業務効率化を実現したものと評価されました。

今後は、日本看護協会のホームページにポータルWebサイトを開設し、厚生労働省の公式Webサイトともリンクさせ、広く紹介される予定です。

*このパネルは、新館3階エレベーター横に掲示されています。



パネル展示の前で記念撮影！



受賞施設との交流会には、想像以上の多くの方々が集まり、関心の高さが伺え、活発な意見交換の場となりました。

受賞により、私たちの働き方改革を多くの方が認知することになりました。今以上に「一つ屋根の下」戦略を進め、患者さんファーストと、各看護単位が均等に業務を終えることができるように、協働体制を維持継続させましょう。現在、数件の雑誌社やテレビ関係各社からの取材依頼がきております。放映等が分かり次第、お知らせいたします。